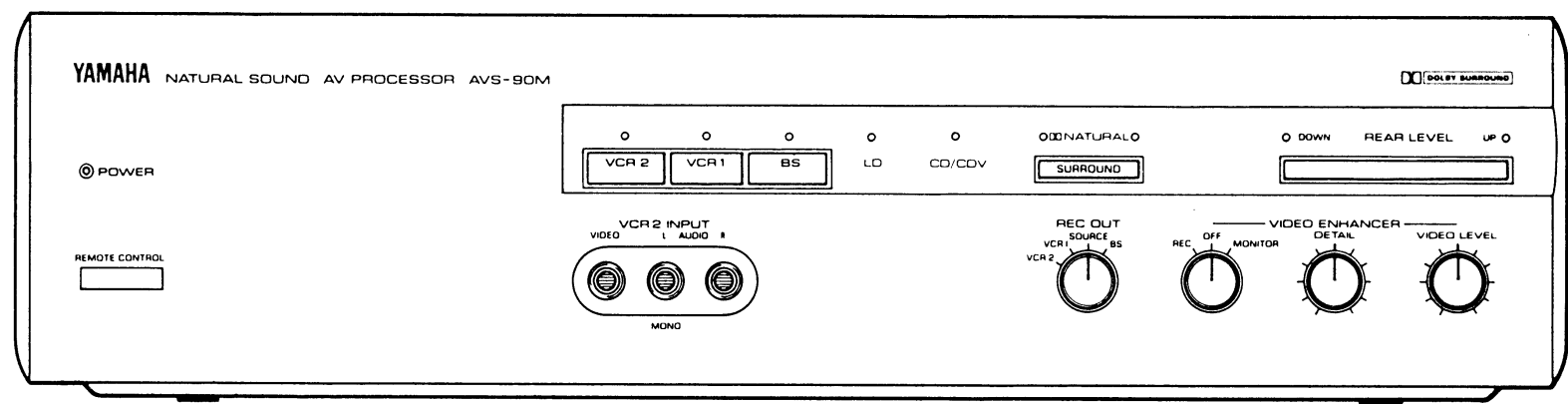


AVS-90M

NATURAL SOUND AV PROCESSOR

取扱説明書



YAMAHA

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハAVプロセッサ AVS-90Mをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。AVS-90Mの優れた性能を十分に発揮させ、末永くお使いいただくために、この取扱説明書をご使用の前に、ぜひお読みくださいますようお願いいたします。

またお読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

目次

ご使用になる前に

特長	1
使用上のご注意	2
システム接続図	3
接続のしかた	4～5
スピーカーの設置について	6
各部の名称とはたらき	7～9

操作のしかた

操作のしかた／再生	9
操作のしかた／録画とダビング	10
サラウンド再生について	11
ビデオエンハンサーについて	12

ご参考に

故障かなと思ったら	13
参考仕様	13
ヤマハホットラインサービスネットワーク	14

特長

● AVソースを多機能コントロール

ビデオデッキ2台の他に、ビジュアル機器3台の入力端子を装備。さらにS端子付きのビデオデッキやモニター出力にも対応。サラウンドプロセッサやビデオエンハンサーも搭載した、多機能AVコントロールセンターです。

● サラウンドプロセッサ搭載

ナチュラルとドルビーの2モードサラウンドプロセッサを内蔵。臨場感溢れるサラウンド再生を、手軽に楽しむことができます。

● ビデオエンハンサー搭載

劣化した画像を補正し、より鮮明な画像とする、ビデオエンハンサーを内蔵。画面の明るさや、ソフトやシャープな画像を自由にコントロールできます。

● 便利なフロント入力端子

フロントパネルに再生用端子を装備。ビデオ機器を手軽に接続できます。

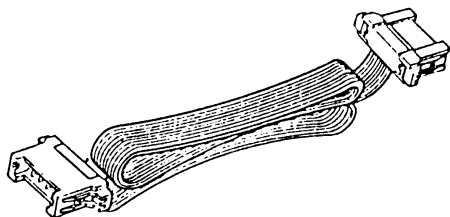
● 新感覚のデザイン

多彩な機能を秘めたパネルフェイスは、暖かさを感じさせる新感覚のデザインです。

付属品

付属品を確認してください。

コネクターケーブル(15ピン)

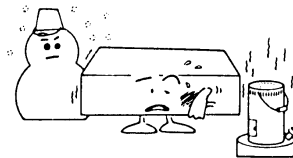
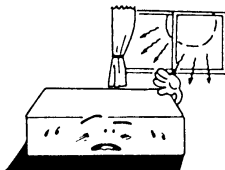


使用上のご注意

高温・低温はさけて！

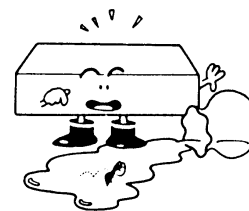
次のような場所への設置はさけてください。

- 温度の極端に高い場所（周囲温度40℃以上）窓際や直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど。
- 温度の極端に低い場所（周囲温度-5℃以下）
- 湿度の高い場所（湿度90%以上）

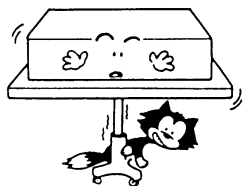


ほこり・水気をさけて！

ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。

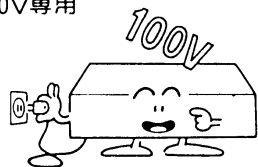


不安定な場所をさけて！

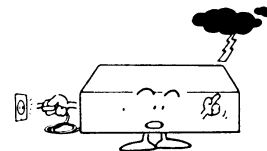


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V専用



雷が近づいたら



早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

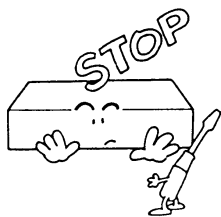
薬物厳禁

ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でかぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。



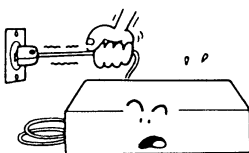
ケースを開けないで！

内部に手を入れると危険です。ケースは開けないでください。



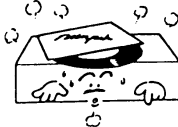
引っぱらないで！

電源コード・ピンコードを抜くときは、コードを引っぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。

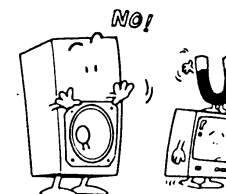


セット上面の通風孔をふさがない

放熱を妨げないよう、セット上面の通風孔の上に敷き物や、レコードなどを絶対に置かないでください。



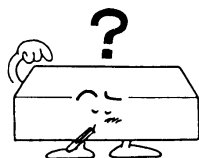
磁気・テレビはさけて！



保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

こわれた？



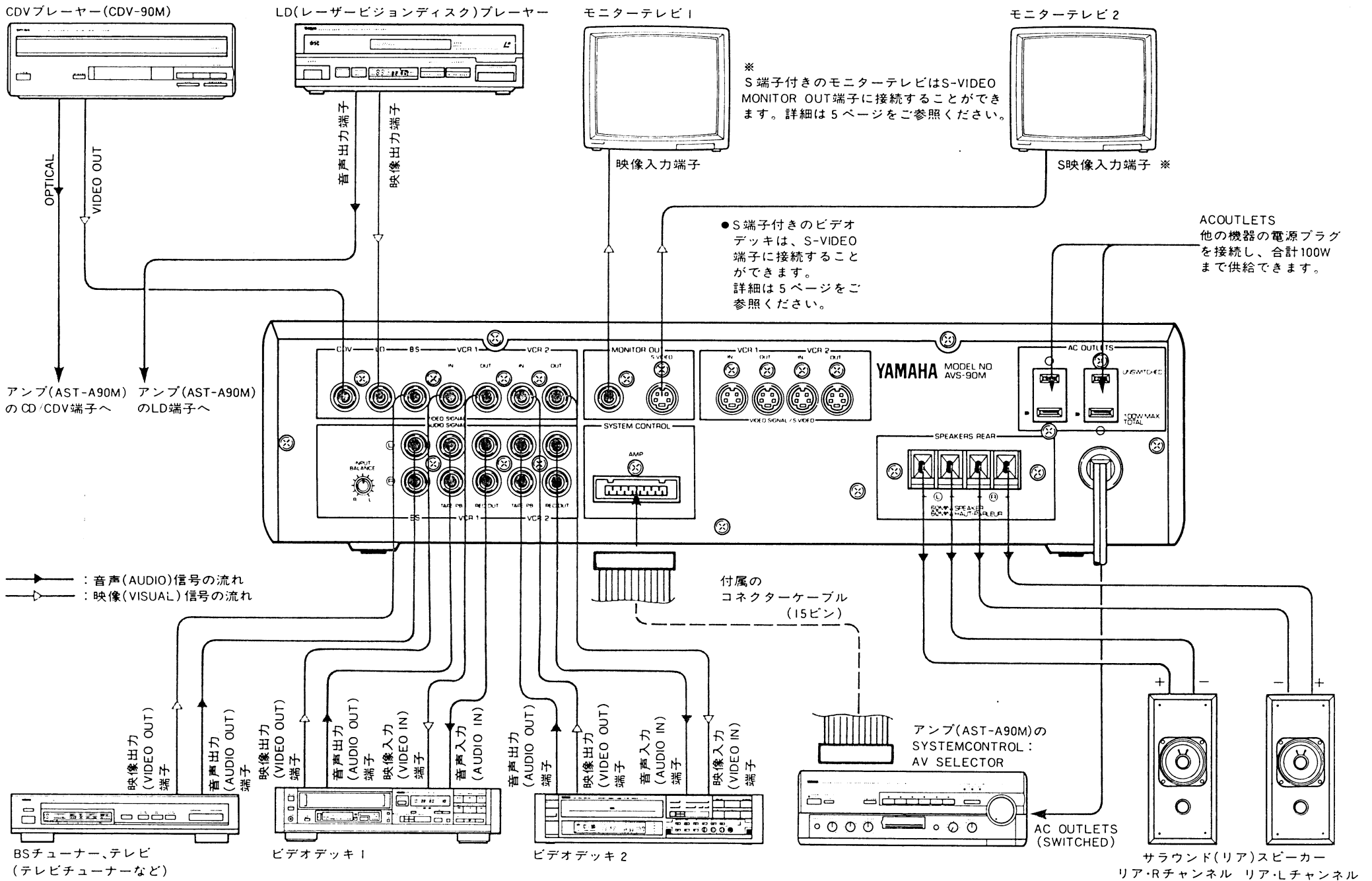
13ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大空気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

システム接続図



接続のしかた

- 接続の際は、本機および接続する機器の電源を必ず切ってから行ってください。
- 接続する機器によっては端子名が異なることがあります。接続する機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。
- 各機器のIN(入力)、OUT(出力)、およびL(左チャンネル)、R(右チャンネル)を確認し、確実に接続してください。
- 本機はアナログ接続専用です。接続する機器にアナログ、デジタルの両方の端子がある場合は、アナログ入出力端子を使って本機に接続してください。
- 接続に誤りが無いことを確認してから、本機の電源コードをAST-A90MのAC OUTLETSに接続してください。

■CDVプレーヤーの接続

- ①CDVプレーヤー(CDV-90M)の映像出力端子(VIDEO OUT)と、本機のCDV端子(黄)をピンプラグコードで接続します。
- ②CDVプレーヤーのOPTICAL端子は、アンプ(AST-A90M)のCD/CDV端子に接続します。
※詳しい接続方法は、AST-A90Mの取扱説明書をご覧ください。

■LD(レーザービジョンディスクプレーヤー)の接続

- ①LDプレーヤーの映像出力端子(VIDEO OUT)と、本機のLD端子(黄)をピンプラグコードで接続します。
- ②LDプレーヤーの音声出力端子(AUDIO OUT L,R)は、アンプ(AST-A90M)のLD端子にピンプラグコードで接続します。

■BSチューナーやテレビの接続

- ①BSチューナーやテレビチューナーの映像出力端子(VIDEO OUT)と、本機のBS端子(黄)をピンプラグコードで接続します。
- ②BSチューナーやテレビチューナーの音声出力端子(AUDIO OUT L,R)と、本機のBS端子をピンプラグコードで接続します。

■ビデオデッキ(VCR)の接続

VCRI, VCR 2端子共、接続方法は同じです。

●再生用コードの接続

- ①ビデオデッキの映像出力端子(VIDEO OUT)と、本機のVCR 1(または2)IN端子(黄)をピンプラグコードで接続します。
- ②ビデオデッキの音声出力端子(AUDIO OUT L,R)と、本機のVCR 1(または2)TAPE PB端子をピンプラグコードで接続します。

●録画用コードの接続

- ①ビデオデッキの映像入力端子(VIDEO IN)と、本機のVCR 1(または2)OUT端子(黄)をピンプラグコードで接続します。
- ②ビデオデッキの音声入力端子(AUDIO IN)と、本機のVCR 1(または2)REC OUTをピンプラグコードで接続します。

●フロントパネルのVCR 2 INPUT端子について

この端子は、リアパネルのVCR 2端子と同じ入力となります。

フロントおよびリアパネルに、それぞれビデオデッキを接続した場合には、フロントパネル(VCR 2 INPUT)側に接続したビデオデッキの再生が優先します。

※フロントパネル側のVCR 2 INPUT端子は再生専用端子で、録画はできません。

- ①ビデオデッキの映像出力端子(VIDEO OUT)と、本機のVCR 2 INPUT VIDEO端子をピンプラグコードで接続します。
- ②ビデオデッキの音声出力端子(AUDIO OUT L,R)と、本機のVCR 2 INPUT AUDIO L,R端子をピンプラグコードで接続します。
※モノラル出力の場合は、AUDIO端子に接続します。

●S端子付きビデオデッキは

- ①ビデオデッキのS出力端子と、本機のS/VIDEO IN端子を専用コードで接続します。
- ②ビデオデッキのS入力端子と、本機のS/VIDEO OUT端子を専用コードで接続します。

VIDEO SIGNAL/S VIDEO端子について

- S 入出力端子とピンジャック入出力端子は、別個の回路構成となっていますので、独立して機能します。
- S 入力と、ピンジャックの入力のインプットセクターは連動しています。S 入力のないソースを選択しているときは、MONITOR OUTのS VIDEO端子には信号は出力されません。
- VCR 1(またはVCR 2)のS 端子と、ピンジャック端子の両方に接続されている場合、VCR 1(またはVCR 2)をインプットセクターで選択すると、両方に信号が出力されます。S 信号またはピンジャック信号のどちらをモニターするかはモニターテレビ側で選んでください。
- **S 端子使用時の注意**
本機の回路構成上VCR 1とVCR 2のS-VIDEO OUT端子は、機器に接続しないケーブルを差し込んだまま(ケーブルの片方のコネクタのみ接続し、もう一方のコネクタを遊ばせている状態) 使用しないでください。

■モニターテレビの接続

モニターテレビの映像入力端子と、本機のMONITOR OUT端子(黄)をピンプラグコードで接続します。

- S 端子付きのモニターテレビは、MONITOR OUT:S VIDEO端子に接続します。

■リア・スピーカーシステムの接続

サラウンド再生を行う場合、アンプ(AST-A90M)に接続されたスピーカーシステムをフロント用として使います。本機にはサラウンド用のパワーアンプ(15W+15W)が内蔵されていますので、サラウンド用リア・スピーカーをここに接続します。接続は、スピーカー端子のレバーを指で下に倒し、端子の穴にスピーカーコードの芯線を差し込んでからレバーを上に戻します。

- ①リア用左(L)チャンネルのスピーカーは、本機のSPEAKERS REAR L端子にスピーカーコードで接続します。
 - ②リア用右(R)チャンネルのスピーカーは、本機のSPEAKERS REAR R端子にスピーカーコードで接続します。
- それぞれ極性(+、-)を間違えないよう、接続してください。

■AST-A90Mとの接続

アンプ(AST-A90M)のSYSTEM CONTROL:AV SELECTOR端子と、本機のSYSTEM CONTROL:AMP端子を付属のコネクタケーブル(15ピン)で、接続します。
※コネクタの向きを間違えないように接続してください。

■電源コードの接続

必ず、AST-A90MのAC OUTLETS (SWITCHED) コンセントに接続してください。

スピーカーの設置について

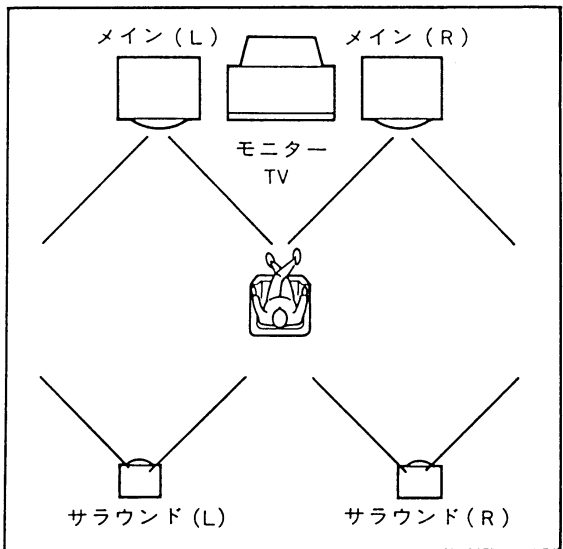
■メインスピーカー

従来のステレオ再生と同様に、左右のスピーカーをリスニングポジションから等距離に設置します。モニターテレビを設置しているときは、左右のスピーカーとテレビの距離を等しく設置してください。

■サラウンドスピーカー

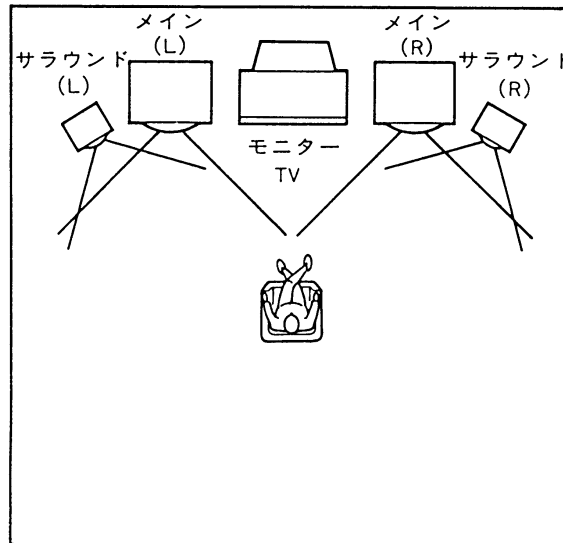
原則的には、リスナーの後方の壁からリスナーに向けて設置します。設置方法は、部屋の大きさや、残響特性などによりいろいろなパターンが考えられます。スピーカーの高さは床から1.8m位が適当です。

標準的な設置例



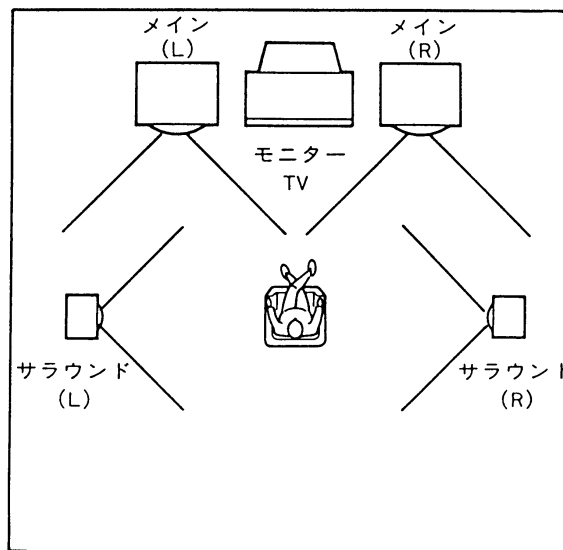
前方に4つのスピーカーを配置する場合

左右の壁がコンクリートや板などの場合は、図とは逆に壁側に向けると、良い結果が得られることがあります。

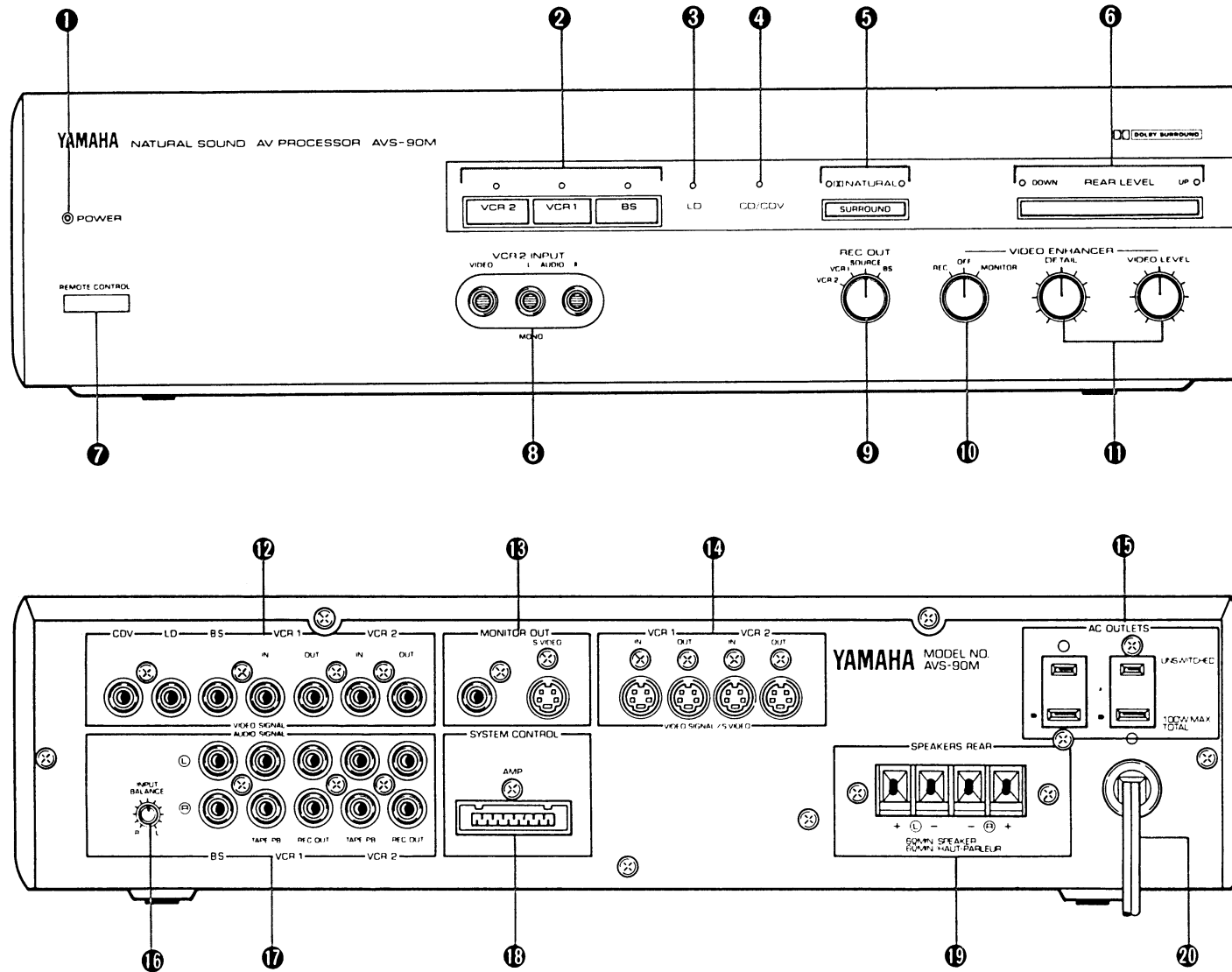


サラウンドスピーカーを左右に設置する場合

少し高いところから下向きに置くと、良い結果が得られることがあります。



各部の名称とはたらき



■フロントパネル

①POWERインジケータ

システムの電源が入ると点灯し、電源が切れると消えます。

ご注意

- システムの主電源のON、OFFは、アンプ(AST-A90M)のPOWERスイッチ、またはアンプに付属するリモコンで行います。

②インプットセレクター／インジケータ

再生したいソースを選択するキーです。押しと選択したソースのインジケータが点灯します。

VCR 2………VCR 2端子に接続されたビデオデッキを再生するとき。

VCR 1………VCR 1端子に接続されたビデオデッキを再生するとき。

エルディ
③ LDインジケーター

アンブ(AST-A90M)のインプットセクターで、LD(レーザービジョンディスクプレーヤー)を選択したときに点灯します。

シーディ/シーディバイ
④ CD/CDVインジケーター

アンブ(AST-A90M)のインプットセクターで、CD/CDVを選択したときに点灯します。

サラウンド
⑤ SURROUNDキー

サラウンド再生をするとき、このキーを押します。
キーを押すたびに、ドルビーサラウンドモードとナチュラルサラウンドモードに切り替わり、それぞれのインジケーターが点灯します。

ドルビー
[DOLBY SURROUND] マークの付いたビジュアルソフトを再生するとき、このポジションにします。
ナチュラル
NATURALどんなミュージックソースや、ビジュアルソースの再生にも適した、サラウンド再生ができます。
オフ
OFFインジケーターが消えます。

リア レベル
⑥ REAR LEVEL コントロール

リアパネルのSPEAKERS REAR端子に接続された、リアスピーカーの音量を調整します。UP側を押すと音が大きくなり、LEDが点滅します。DOWN側を押すと音が小さくなり、LEDが点滅します。
※REAR LEVELコントロールが最大または最小位置では、LEDは点灯したままとなります。

リモート コントロール
⑦ REMOTE CONTROL 受光部

アンブ(AST-A90M)付属の、リモコンからのコントロール信号(赤外線)を受光する場所です。リモコンの送信窓をこの受光部に正しく向けて操作してください。

インプット
⑧ VCR 2 INPUT 端子

ビデオ機器の再生出力を接続する端子です。
ビデオ機器の映像出力端子と本機のVIDEO端子、ビデオ機器の音声出力L端子とAUDIO L端子、ビデオ機器の音声出力R端子とAUDIO R端子間をピンプラグコードで接続します。

●本端子は、リアパネルのVCR 2端子と同じ入力となりますが、本端子に接続されたビデオ機器の再生が優先します。

レック アウト
⑨ REC OUTセクター

VCR 1やVCR 2端子に接続されているビデオデッキに、録画したいソースを選択するスイッチです。

※S端子付きのVCR 1、VCR 2への切替えはできません。

ビデオ エンハンサー
⑩ VIDEO ENHANCERセクター

VIDEO ENHANCERコントロールで調整された画像を、録画したり、モニターするときに切り替えるスイッチです。

RECVIDEO ENHANCER コントロールで調整された画像を録画するとき、このポジションにします。

OFFビデオエンハンサーの機能をはたらかせないとき、このポジションにします。

MONITORVIDEO ENHANCER コントロールで調整された画像をモニターするとき、このポジションにします。

ビデオ エンハンサー
⑪ VIDEO ENHANCERコントロール

ビジュアル信号のレベルや、画像のディテールを調整するつまみです。

DETAILつまみを中心より右に回すと画像の細部が強調されます。
つまみを中心より左に回すとソフトな画像となります。

VIDEO LEVELつまみを中心より右に回すと画面が明るくなります。
つまみを中心より左に回すと画面が暗くなります。

●S端子に接続した、ビデオデッキやモニターテレビの画像を調整することはできません。

■ リアパネル

ビデオ シグナル
⑫ VIDEO SIGNAL(映像)入力・出力端子

ビデオ機器の映像信号の入出力端子です。

CDVCDVプレーヤーの映像出力端子と接続します。

LDレーザービジョンディスクプレーヤーの映像出力端子と接続します。

BSBSチューナーやテレビ(テレビチューナー等)の映像出力端子と接続します。

VCR 1 INビデオデッキの映像出力端子と接続します。

OUTビデオデッキの映像入力端子と接続します。

VCR 2 IN2台目のビデオデッキの映像出力端子と接続します。

OUT2台目のビデオデッキの映像入力端子と接続します。

モニター アウト
⑬ MONITOR OUT 端子

モニターテレビの入力端子と接続します。

●S端子付きのモニターテレビはS VIDEO端子に接続してください。

ビデオ シグナル エス ビデオ
⑭ VIDEO SIGNAL/S VIDEO 端子

S端子付きのビデオデッキを、専用コードでこの端子と接続します。

VCR 1 INビデオデッキのS出力端子と接続します。

OUTビデオデッキのS入力端子と接続します。

VCR 2 IN2台目のビデオデッキのS出力端子と接続します。

OUT2台目のビデオデッキのS入力端子と接続します。

操作のしかた／再生

エーシー アウトレット

⑮ AC OUTLETS (電源供給コンセント)

他のオーディオ機器に電源を供給するコンセントです。

アンプ (AST A90M) のPOWERスイッチと連動して最大100Wまでの電源を供給できます。

- 本機のAC OUTLETSには、極性が表示(電源トランスの巻き始め側を■表示)されています。接続する機器の電源プラグに極性表示がある場合は、極性を合わせてください。

インプット バランス

⑯ INPUT BALANCEコントロールツマミ

より効果的なサラウンド再生を行うために、L、Rチャンネルのバランスを調整するツマミです。左右のサラウンドスピーカーの中央の音(ボーカル等)が最小になるように調整します。

オーディオ シグナル

⑰ AUDIO SIGNAL (音声) 入力・出力端子

ビデオや音声機器の音声入出力端子です。

BS……………BSチューナーやテレビ(テレビチューナー等)の音声出力端子と接続します。

VCR 1

TAPE PB……ビデオデッキの音声出力端子と接続します。

REC OUT……ビデオデッキの音声入力端子と接続します。

VCR 2

TAPE PB……2台目のビデオデッキの音声出力端子と接続します。

REC OUT……2台目のビデオデッキの音声入力端子と接続します。

システム コントロール・アンプ

⑱ SYSTEM CONTROL: AMP端子

システムのコントロール端子です。アンプ(AST-A90M)のSYSTEM CONTROL: AV SELECTOR端子と、本機に付属のコネクターケーブル(15ピン)を使って接続します。

スピーカー リア

⑲ SPEAKERS REAR端子

リアスピーカーの接続端子です。

⑳ 電源コード

必ず、アンプ(AST-A90M)のAC OUTLETS (SWITCHED)コンセントに接続してください。

接続の際は、電源コードの白ライン側をAC OUTLETの■表示のある側に合わせて接続してください。

- 電源を入れる前に、接続が正しいか確認してください。

①アンプ(AST-A90M)や再生するビジュアル機器、およびモニターテレビの電源をONにします。本機のPOWERインジケータが点灯します。

②インプットセクターで、再生するビジュアルソースを選びます。選択されたソースのインジケータが点灯します。

- ビデオデッキ2の再生……………VCR 2

- ビデオデッキ1の再生……………VCR 1

- BSチューナーやTVチューナーの再生……………BS

※LD(レーザービジョンディスクプレーヤー) CDVプレーヤーは、アンプのインプットセクターで選択してください。本機にはインジケータが点灯します。

③画質を調整する場合は、VIDEO ENHANCERで調整します。

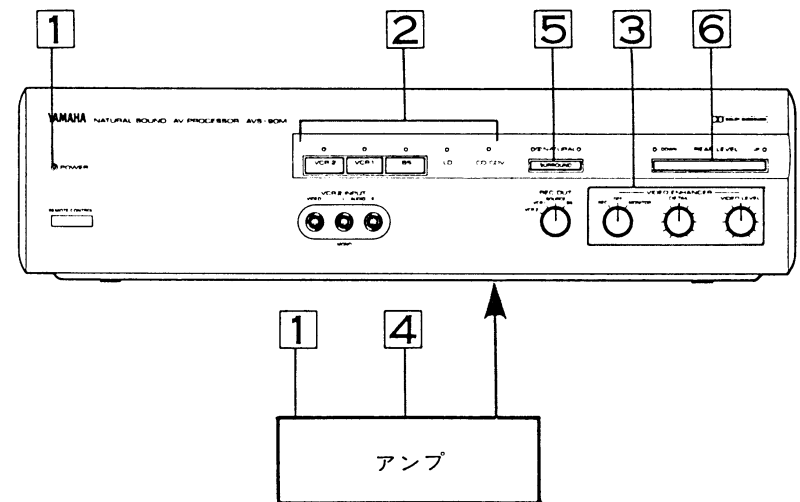
12ページ「ビデオエンハンサーについて」参照

④アンプのVOLUMEツマミで、メインスピーカーの音量を調整します。

⑤サラウンド再生の場合、SURROUNDキーを押して、サラウンドモードを選びます。11ページ「サラウンド再生について」参照

⑥サラウンド再生時、サラウンドスピーカーの音量はREAR LEVELコントロールで調整します。

※SURROUNDキーがOFFの状態(インジケータが消灯)では、サラウンドスピーカーから音はでません。



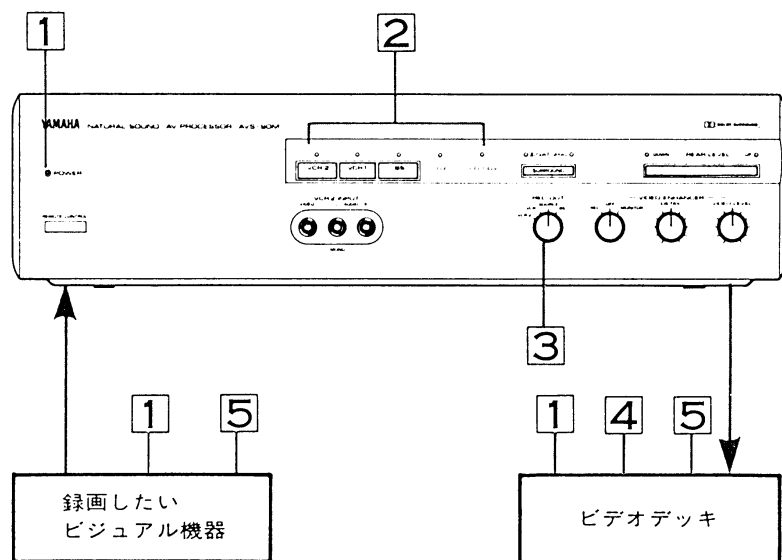
操作のしかた / 録画とダビング

■録画のしかた

- ① アンプ(AST-A90M)や再生するビジュアル機器、および録画するビデオデッキの電源をONにします。
 - ② 本機または、アンプのインプットセレクターで、録画するソースを選択します。
 - ③ REC OUTセレクターをSOURCEにします。
- REC OUTセレクターの使いかた

REC OUTセレクターの位置	録画するソース	録画できるビデオデッキ
VCR 2	VCR 2デッキで再生されるソース	VCR 1端子に接続したデッキ
VCR 1	VCR 1デッキで再生されるソース	VCR 2端子に接続したデッキ
SOURCE	インプットセレクターで選択されるソース	VCR 1、VCR 2端子に接続したデッキ
BS	BS端子に接続した機器のプログラムソース	

- ④ ビデオデッキを録画一時停止状態にします。
必要に応じて画質をVIDEO ENHANCERで調整します。
- ⑤ 録画するプログラムソースの再生を始め、同時にビデオデッキの録画を開始します。

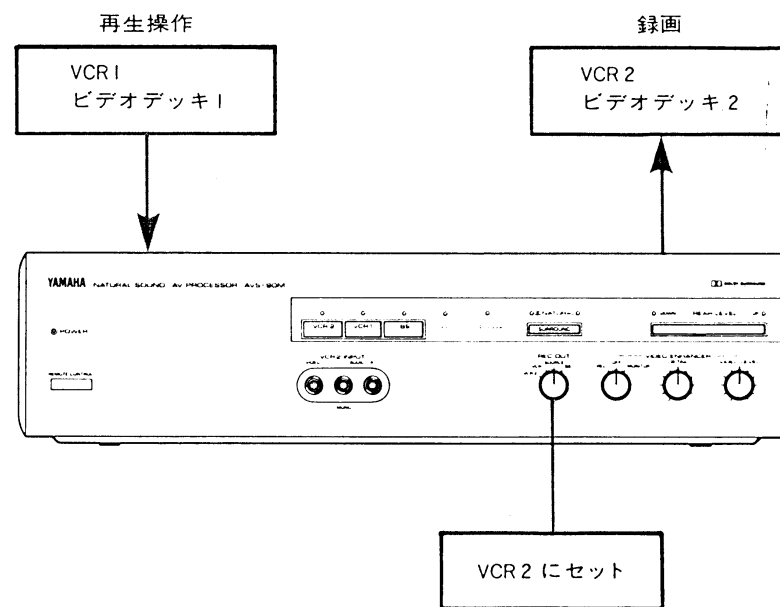


■ダビングのしかた

ビデオデッキを2台接続して、テープからテープにダビングすることができます。

●VCR 1 → VCR 2

ビデオデッキ1からビデオデッキ2へダビングするときは、インプットセレクターをVCR 1、REC OUTセレクターをVCR 2にセットし、ビデオデッキ1を再生状態にし、ビデオデッキ2で録画します。



●VCR 2 → VCR 1

ビデオデッキ2からビデオデッキ1へダビングするときは、インプットセレクターをVCR 2、REC OUTセレクターをVCR 1にセットし、ビデオデッキ2を再生状態にし、ビデオデッキ1で録画します。

サラウンド再生について

本機は、コンサートホールやライブスポット、そして映画館などで体験する臨場感を、リスニングルームで再現できるデジタル・サラウンドプロセッサを搭載しています。音楽やビデオソフトの再生に効果を発揮し、AVライフをより楽しくすることでしょう。

※モノラルソースの再生をするときは、サラウンドスピーカーからは音は出ません。

■サラウンド再生の準備

メインスピーカーと、サラウンドスピーカーとの音のバランスがとれていないと、良好なサラウンド効果が得られません。各スピーカーの音量バランスを次の手順で調整してください。

- ①電源を入れ、ソースを再生します。
- ②SURROUNDキーを押して、ドルビーまたはナチュラルにしておきます。
- ③左右のサラウンドスピーカーから出る、センターの音(ボーカル等)が最小になるよう、リアパネルのINPUT BALANCEコントロールを回し、入力バランスを調整します。



- ④本機のREAR LEVELコントロールで、サラウンドスピーカーの音量を絞っておきます。
- ⑤アンプ(AST A90M)のVOLUMEツマミで、メインスピーカーの音量を調整します。
- ⑥本機のREAR LEVELコントロールで、サラウンドスピーカーの音量を上げ、メインスピーカーとの音量バランスを調整します。

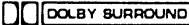
■サラウンド再生のしかた

- ①接続した各機器の電源を入れます。
- ②SURROUNDキーを押して、再生するサラウンドモードを選びます。
- ③接続した機器を操作して、入力ソースを再生します。
- ④アンプのVOLUMEツマミでメインスピーカーの音量を、本機のREAR LEVELコントロールでサラウンドスピーカーの音量を調整します。

■サラウンド再生の特長

SURROUNDキーにより、2種類のサラウンドモードが選択できます。

●ドルビーサラウンド

マークの付いたビジュアルソフトを再生するとき、このポジションにします。

これらのビジュアルソフトは、ドルビー独自のシステムでエンコード録音されており、劇場で体験するのと同じような臨場感と音響効果が再現されます。

●NATURALサラウンド

メインスピーカーは入力ソースの信号をそのまま出力し、サラウンドスピーカーには残響音だけが送られます。

このポジションは、ソースに含まれている残響音を忠実に再生しますので、残響成分の多いソースの再生に適しています。また、サラウンド再生の基本的な要素を持ち、どのようなミュージックソースやビジュアルソースの再生にも適しております。

ビデオエンハンサーについて

■ビデオエンハンス効果

ビジュアルソースは、VIDEO ENHANCERの各コントロールの調整により、劣化した画像を改善し、より鮮明な画像にしてから再生や録画をすることができます。

●VIDEO ENHANCERセレクター

ビデオエンハンサーの各コントロールで調整された画像を、録画したり、モニターするときに切り替えます。

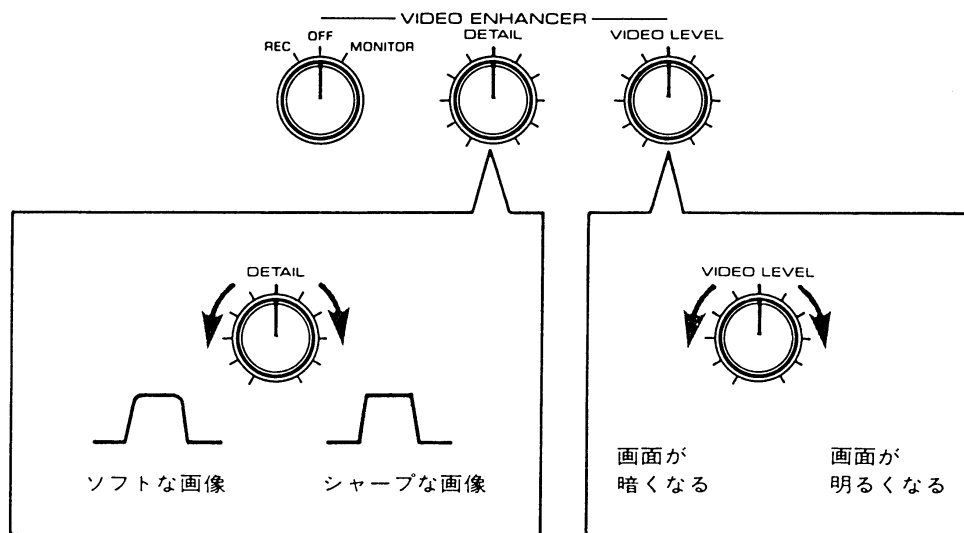
●DETAILツマミ

画像の輪郭を強調したり、修復するときに調整します。

ツマミを右に回すと、ソフトな画像からシャープな画像に変化します。必要以上に強調すると、テレビ受像機の種類によっては垂直同期が乱れることがありますので、適正な画面に調整してください。

●VIDEO LEVELツマミ

画面の明るさを調整します。



■ビデオエンハンサーの使い方

●再生時のエンハンス

- ①本機または、アンプ(AST-A90M)のインプットセレクターでビジュアルソースを選択し、ソースを再生します。
- ②VIDEO ENHANCERセレクターをMONITORにセットします。
- ③VIDEO LEVEL, DETAILの各ツマミで画像を調整します。
- ④VIDEO ENHANCERセレクターをOFFにして、調整前の画像と比較します。必要に応じて②～④の調整をやり直します。

●録画時のエンハンス

- ①本機のREC OUTセレクターで録画するビデオデッキを選択し、ビデオデッキを録画の一時停止状態にします。
- ②VIDEO ENHANCERセレクターをRECにセットします。
- ③再生側の機器を操作し、ビジュアルソースを再生します。
- ④VIDEO LEVEL, DETAILの各ツマミで画像を調整します。
- ⑤VIDEO ENHANCERセレクターをOFFにして、調整前の画像と比較します。必要に応じて②～⑤の調整をやり直します。
- ⑥VIDEO ENHANCERセレクターをRECにし、録画側のビデオデッキを操作して録画を開始します。

—ご注意—

- S VIDEO端子に接続されたビデオデッキは、ビデオエンハンサーの効果を加えた再生や録画はできません。
- 録画または、ダビングするソース自体にノイズやゴーストがあるときは、エンハンサーを使用するとさらに強調される結果となります。
- ダビングの際、DETAILの調整は、最適と思われる位置よりやや低めにセットすることをお勧めします。
ディテールを強調しすぎると、ダビングされた画像の色が濁ったり、画像の回りに黒い線が走ったりすることがあります。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。
 そのうえで正常に動作しないとき、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点に、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
アンプAST-A90MのPOWERスイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの接続が不完全。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直してください。
音や画像が出ない	インプットセレクターが、再生したいプログラムソースにセットされていない。	再生したいプログラムソースのインジケータを点灯させてください。
	接続が不完全	接続を確認してください。
サラウンドスピーカーの音が出ない	REAR LEVELコントロールがDOWNになっている。	REAR LEVELコントロールのUP側を押して音量を上げる。
	SURROUNDスイッチがOFFになっている。	SURROUNDスイッチを押して、サラウンドモードにしてください。
リモコンで操作できない(AST-A90Mのリモコンで操作)	電池が消耗している。	電池を交換してください。
	リモコン操作の距離、角度が不適当。	7 m以内、30°以内で操作してください。

参考仕様

■オーディオ部

定格出力(SPEAKER REAR)	
1 kHz, 0.4%THD, 6 Ω	15W + 15W
EIAJ 1 kHz, 10%THD 6 Ω	25W + 25W
信号対雑音比(IHF-A)	
BS, VCR 1, VCR 2 (入力ショート)	70dB

■ビデオ部

ビデオ方式	NTSC方式
ライン/フィールド	525本/60フィールド
ビデオ入力	1 Vp-p, 75 Ω
ビデオ出力	1 Vp-p, 75 Ω
ビデオ許容入力	1.5Vp-p, 75 Ω
ビデオS/N	50dB
DETAILコントロール	- 3 ~ + 3 dB
VIDEO LEVELコントロール	- 3 ~ + 3 dB
Sビデオ入力-Y	1 Vp-p, 75 Ω
Sビデオ入力-C	0.3Vp-p, 75 Ω
Sビデオ出力-Y	1 Vp-p, 75 Ω
Sビデオ出力-C	0.3Vp-p, 75 Ω

■総合

電源電圧	AC100V, 50/60Hz
消費電力	50W
ACアウトレット	
UNSWITCHED × 2	100W max.
外形寸法(W×H×D)	366 × 94 × 316mm
重量	4.6kg
付属品	コネクターケーブル(15ピン) × 1

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

（右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。）

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

（電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口）

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 特販営業所 TEL(03)255-1825 首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691 首都圏第二営業所 TEL(03)255-5691 神田営業所 TEL(03)255-6767 販売二課 TEL(03)255-2302
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル 北関東営業所 TEL(025)241-2084
千葉	〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F 千葉営業所 TEL(0472)47-6622
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ツ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市中種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551 販売二課 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんはセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 中央営業所 TEL(06)647-6411 販売二課 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよきん広島ビル内 中国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ホームエレクトロニクス事業本部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3421

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10 1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内販売統括部 TEL.(0534)60-3421
生産管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA

ヤマハAVプロセッサー

AVS-90M

取扱説明書補足

このたびは、ヤマハAVプロセッサーAVS-90Mをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。

本機は、イネスAST-90MシリーズのAVシステムコンポーネントです。

イネスAST-90Mシリーズ(AST-A90M)以外のアンプとシステム使用される場合には、ご使用前に必ずこの補足説明書をよくお読みください。

接続のしかた

(AST-A90M以外のアンプとシステム使用される場合、本機をサラウンドアンプとして使用してください。)

接続の際のご注意

- 電源スイッチ……………各機器の電源を切ってから接続してください。
- 接続コード……………各機器のL(左チャンネル)・R(右チャンネル)を確認して、正しく確実に接続してください。
- 電源プラグ……………接続に誤りがないことを確認してから、アンプ側のAC OUTLETS (SWITCHED)に差し込んでください。
- お手持ちのシステムにより端子名などが異なることがあります。接続の際はご使用になる機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。



■接続方法

①本機のAUDIO SIGNAL端子のBSとプリメインアンプのテープアウト端子レック アウト (REC OUT)またはアクセサリ端子センド (SEND)を接続します。

- プリメインアンプのテープ端子に空きがない場合は、接続されているテープデッキを外し、本機のVCR 2端子に接続し直してください。
(この場合、残りの入力端子はなくなります。)

②本機のAUDIO SIGNAL端子のVCR 1 (REC OUT)とプリメインアンプのテープイン端子テープ プレイバック (TAPE PB)またはアクセサリ端子レシーブ (RECEIVE)を接続します。

③本機の電源プラグを、必ずプリメインアンプのAC ^{エーシー} ^{アウトレット} ^{スイッチド} OUTLETS (SWITCHED) コンセントに接続します。

本機のAC OUTLETS (100W以下) に他の機器を接続した場合は、接続する機器の消費電力を確認の上、必ず指定範囲内でご使用ください。

- 本機の電源コードに記されている白線側は、電源トランスの巻き始め側を示しています。このマークは、接続する各機器と電源の極性を合わせるためのものです。
極性を合わせなくても使用上は影響ありませんが、より良い音質を得るためには、極性を合わせておかれることをお勧めします。

④その他の接続

- 本機のVIDEO SIGNAL端子のCDV、LDは、使用できません。
- SYSTEM CONTROL : AMP端子は、使用しません。
- その他の端子の接続方法は、本機の取扱説明書をご参照ください。



注1 プリアウト・メインイン端子を装備しているプリメインアンプです。プリアウト・メインイン端子間にジャンパーピンが差し込まれていますので、そのジャンパーピンをはずして使用します。

(ジャンパーピンの代わりにカプラースイッチがある場合は、そのスイッチを“SEPARATE”または“COUPLER OFF”にします。)

■接続方法

- ①本機のAUDIO SIGNAL端子のBSとプリメインアンプ(プリアンプ)のプリアウト端子を接続します。
- ②本機のAUDIO SIGNAL端子のVCR 1 (REC OUT)とプリメインアンプ(パワーアンプ)のメインイン端子を接続します。
- ③本機の電源プラグを、必ずプリメインアンプ(プリアンプ)の^{エーシー}AC^{アクトレット} OUTLETS(SWITCHED)コンセントに接続します。

本機のAC OUTLETS(100W以下)に他の機器を接続した場合は、接続する機器の消費電力を確認の上、必ず指定範囲内でご使用ください。

●本機の電源コードに記されている白線側は、電源トランスの巻き始め側を示しています。このマークは、接続する各機器と電源の極性を合わせるためのものです。

極性を合わせなくても使用上は影響ありませんが、より良い音質を得るためには、極性を合わせておかれることをお勧めします。

④その他の接続

- 本機のVIDEO SIGNAL端子のCDV、LDは、使用できません。
- SYSTEM CONTROL : AMP端子は、使用しません。
- その他の端子の接続方法は、本機の取扱説明書をご参照ください。

操作のしかた

■プリメインアンプ(プリアンプ)側の入力ソースを再生したい場合

- ①プリメインアンプ(プリアンプ)側の電源をONにします。
連動して本機の電源が入ります。
(POWERインジケータが点灯します。)
- ②本機のインプットセレクターのBSを押します。
(BSのインジケータが点灯します。)
- ③本機のREC OUTセレクターをSOURCEにします。
- ④アンプ側を操作してソースの信号を本機に入力します。
テープ端子に本機を接続したときのみ、アンプを下記のように操作してください。
 - ^{レック アウト}REC OUTセレクターのあるアンプの場合
 - ①アンプのインプットセレクターを"TAPE"にします。
 - ②本機への入力ソースは、アンプのREC OUTセレクターで選びます。
 - ^{テープ モニター}TAPE MONITORスイッチのあるアンプの場合
 - ①アンプのTAPE MONITORスイッチを"ON"にします。
 - ②本機への入力ソースは、アンプのインプットセレクターで選びます。
- ⑤アンプ側の^{ボリューム}VOLUMEでメインスピーカの音量を調整します。
- ⑥サラウンド再生する場合は、本機のSURROUNDキーを押してサラウンドモードを選び、そしてREAR LEVELコントロールでサラウンドスピーカの音量を調整します。

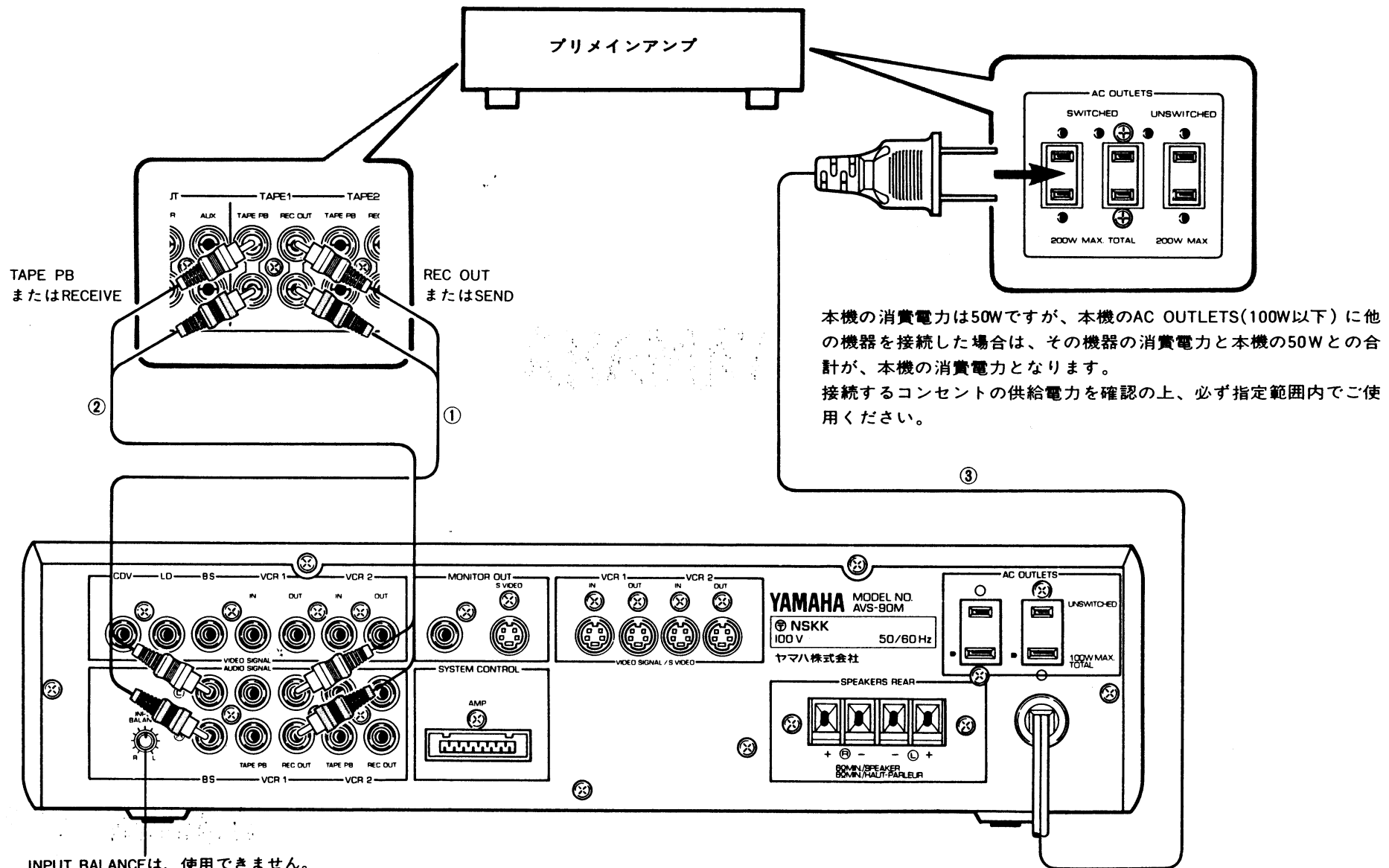
■本機側のVCR 2 を再生したい場合

- ①プリメインアンプ(プリアンプ)側の電源をONにします。
連動して本機の電源が入ります。
- ②本機のインプットセレクター"VCR 2"を押します。
VCR 2のインジケータが点灯します。
- ③本機のREC OUTセレクターを"SOURCE"に固定します。
- ④プリメインアンプのテープ端子に本機を接続したときのみ、アンプを下記のように操作してください。
 - ^{レック アウト}REC OUTセレクターのあるアンプの場合
 - ①アンプのインプットセレクターを"TAPE"にしてください。
 - ②アンプのREC OUTセレクターに関係なく本機側の"VCR 2"を再生できます。
 - ^{テープ モニター}TAPE MONITORスイッチのあるアンプの場合
 - ①アンプのTAPE MONITORスイッチを"ON"にします。
 - ②アンプのINPUTセレクターに関係なく本機側の"VCR 2"を再生できます。
- ⑤アンプ側の^{ボリューム}VOLUMEでメインスピーカの音量を調整します。
- ⑥サラウンド再生する場合は、本機のSURROUNDキーを押してサラウンドモードを選び、そしてREAR LEVELコントロールでサラウンドスピーカの音量を調整します。

注 意

ヤマハAST-A90M以外のアンプを使用される場合、電源がON/OFFになると本機のインプットセレクター・SURROUND・REAR LEVELの設定が記憶されず消滅してしまいます。電源を入れたときは、インプットセレクター・SURROUND・REAR LEVELを再度操作してください。

(REAR LEVELの初期設定は、ボリュームレベルで中央(センター)ポジションとなります。)



YAMAHA

YAMAHA ヤマハ株式会社
〒430 静岡県浜松市中区中沢町10番1号
AV機器事業部
営業部 TEL(0534)60-3451